

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	敬愛シンフォニー保育園
施設所在地	八王子市散田町4-7-11
法人名	社会福祉法人敬愛学園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 園にビオトープがあり、そこに生息している生き物や植物に興味を持っている姿が見られているので設定した。
--

2. 活動スケジュール

4月バケツでの稲作を開始 大賀蓮の開花から観察を開始 ガマの観察開始 10月米の収穫 ガマの種子の放出を観察、体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) ビオトープ内の環境を、植物や生き物が生息しやすいような水深にした。 四季による植物の変化を感じられる植物を選定し、植栽した。
--

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

稲作：米は種の芽出しから行い、バケツを使用し田植え、栽培、収穫までを行う。

米の生育状況を個人の観察記で記録した。

大賀蓮：開花をきっかけに大賀蓮の存在に気付き、その後観察を継続して行う。

珍しい植物である為、PCを使用しインターネットなどでも花の様子を知り
実物と見比べる。落花の跡に蓮根のような穴があることに気付き、同じ蓮の
種類であることを知る。

ガマ：他の植物を観察する中で、ガマの存在に気付く。次第に穂ができ、図鑑や
インターネットで調べる中で種子の放出があることを知り、体験する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

四季により、開花や葉の色の変化など植物の様子が変化していくことに気付き、その気付きを
友達や保育者と共有することで観察する視点の幅が広がった。また、インターネットを使用
することで、興味関心が広がったり、子どもの見立てが様々になり、意見交換や学びが深
まった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

実物を見て体験することで観察の視点が広がっていき、また子どもがそれぞれで観察したことを
意見交換をする中で、互いに学びを深めていく姿が見られた。保育者は、子どもの興味関
心の対象をしっかりと見極め、さらに興味が広がったり、活動が発展するような環境をタイム
リーに設定していくことが大切だと感じた。